

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19100-1	青少年総合支援センター費	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	07:青少年の健全育成と青少年活動の促進	科	項 青少年対策費
戦略プロジェクト		目	目 青少年対策費	

② 目的・概要	対象	青少年
	目的	青少年に関する諸施策を総合的に調整し、その活動を推進すると共に、青少年の生活実態を把握しつつ、非行化を防止し、健全な育成を図ることを目的とする。

			24年度	25年度	26年度		
③ 指標	活動	① 名称	センター周知のための広報活動回数	計画値			
		補足	広報やパンフレット等によりセンターの認知度を上げる。	実績値	7	10	11
		単位			回	回	回
	成果	② 名称		計画値			
		補足		実績値			
		単位					
①	名称	相談件数	計画値				
	補足	ノートやひきこもりなどの青少年の悩み相談等	実績値	606	531	302	
	単位			回	回	回	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					補導業務については、特別補導(各地区の補導委員とセンター職員が一緒にパトロールする。)について昼間のパトロールを追加し、年間昼間1回、夜間2回の特別補導を実施した。三重県警察が展開しているチャイルドガーディアンみえ推進事業との連携を強化に努め、地域・学校・各関係機関や隣接する行政機関との合同パトロールを実施した。			
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	2,961	平均給与額×③
		国庫支出金		13,530	12,906	一般職員人件費 ②	2,961	
		県支出金				所要人員 ③	0.40	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他				受益者負担額 ⑤		
		一般財源		13,530	12,906	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥	
		再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	2,961			
	総コスト		⑥	15,867				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	本年度中から、通常のパトロール時において、声かけを行った場所、時間、人数等のほか、青少年の実態把握のため、コミュニティなどへの立ち寄りや、地域の関係者とのコンタクトを密にして地域との連携を図った。また、それぞれの地域における青少年問題について連携により収集した情報をデータとして蓄積し、執務日誌などにより職員・関係部署間での共有化を行なった。	総合判定	A
	【反省点・課題】	パトロールの時間帯、コース・回数等については、従前より十分に検討した結果現在に至っており、青少年健全育成及び犯罪抑止の効果は出ていると考えられる。しかしながら、より実効性を明確化させる必要性は認識しており、青少年に関する情報や地域・関係機関との連携状況を可視化する必要がある。	順調に進んだ	
	【改善の方向性】	地域連携に基づくデータをもとに、第2次総合計画において亀山市青少年総合支援センターの方向性とあわせて再検証し、地域における青少年健全育成の担い手となりうる地域まちづくり協議会などの動向を注視しつつ、地域自治のあり方の中で方向性を定めていく。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆	